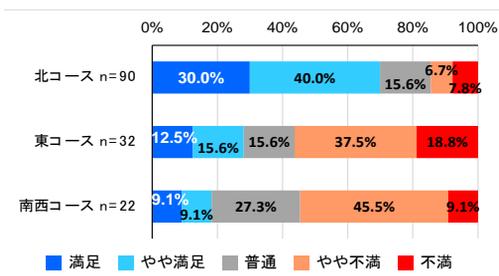
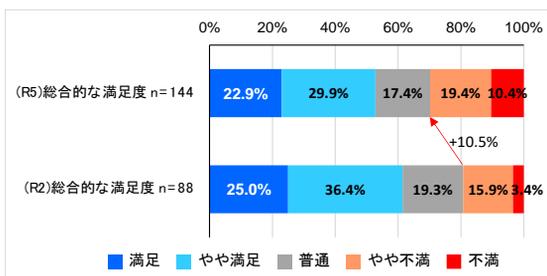


令和3年3月に策定した東郷町地域公共交通計画は、令和5年度が中間年度にあたるため、中間評価（実態調査）を行いました。中間評価の結果から、本町の公共交通の課題を整理し、令和8年度までの計画を修正するものです。

1 中間評価の結果

概ね指標は達成又は上向き傾向である一方で、指標2-1の満足度は評価「×」です。特にコース別では、東コースや南西コースの不満割合は50%を超えています。

	指標名	現況値 (R2)	実績値 (R4~R5)	目標値 (R8)	評価
指標1-1 (努力目標)	公共交通全体の利用者数	1,735,044人	1,918,225人	約214万人	△
指標1-1 (必達目標)	じゅんかい君の年間利用者数	139,473人	170,558人	150,000人	○
指標1-2	都市拠点内の利用者数	1,015人/日	1,190人/日	1,200人/日	△
指標2-1	じゅんかい君の満足度 (不満割合)	19.3%	29.8%	現状未達	×
指標3-1	庁内他部署や複数の実施主体が連携・協働した取組の件数	9件/年	13件/年	12件/年	○



2 前回公共交通会議の議論（指標2-1関係の抜粋）

- ・じゅんかい君の利用の多いところは厚く、そうでないところを減らすことは納得できない。
- ・現在のじゅんかい君路線（R3年再編）は、会議の場で皆で決めたこと。
- ・単純に満足度の低い路線を増便してしまうと、別の路線の満足度に影響を与える。
- ・一定の数値を設けて、見直しや受忍を判断する指標があってもよい。
- ・単純に便数を増加させることは限られた資源、財源の中では無理である。
- ・じゅんかい君だけでなく、他の手段を上手に使いながら移動ができるのが望ましい。
- ・タクシーや民間バス路線を含めた公共交通機関全体として満足度を向上させる取組が必要。
- ・他の交通手段も安く利用できる手立てを考えるとというのも一つの方法である。
- ・近隣自治体では「共助」の取組もできてきている。

3 地域公共交通計画の修正

上記の議論を受けて、以下の事業（アクションプラン）を新たに実施します。

- (1) **地域の輸送資源の活用**
送迎バスを運行する施設と連携するなどの移動サービスの提供を図ります。
- (2) **民間路線バスとの連携強化**
乗継・運賃割引等の施策をバス事業者と連携し、公共交通の利用促進を図ります。
- (3) **地域主体の交通サービスに対する支援**
「共助」により、地域が協力して移動手段を確保する取組を支援します。

地域交通法の改正に伴う計画記載内容の修正、計画策定後に実施したデマンドタクシーの記載等を併せて行います。